

令和3年度かわさき教師塾

☆『明日の先生日記』☆

子どもの笑顔が
あられるまち
かわさき



Colors, Future!
いろいろって、未来。

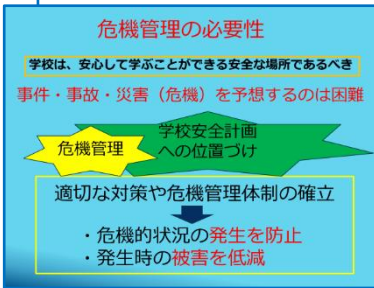
川崎市

2月19日(土) 感染防止の観点から今回もオンラインでの開催になりました。学校で求められる教員についての講義、今年度の教師塾での学びについての振り返りと交流が行われました。

子ども自身が「ここにいていいんだ」「自分の居場所であるんだ」と感じられるように

令和4年2月19日(土) 日程

- 10:05 危機管理
- 10:45 今、教員に求められること
- 11:20 振り返り
- 11:30 受講生振り返り(全体について)グループ交流
- 12:10 閉講式
- 12:20 事務連絡等 12:30 終了



講義での事故事例を見た時、とっさの対応は想定していないとできないと思いました。私が学ぶことで子どもたちが安全安心で過ごせる環境がより一層強くなるのだと思いました。

学校は

- ・子どもを預かる
=児童生徒の命を預かる場所
- ・子どもたちが
自分で生き抜く力を身に付ける場所

子どもたちにとって安全・安心な場であるために危機管理の意識を高める



ASUKAモデルの映像には涙が出た。安全管理への意識を高め、他人事ではなく「自分ごと」として捉えていきたいと強く感じた。



学校は子どもの命を預かる場所…

ありのままのその子その子の存在そのものを先生が認める、とは

肯定的に認める

子どもの状態・特徴を受容的に認識し、かつ成長の可能性とつなげて考えること

成長を信じる

肯定的に認めること、成長を信じることを大切にしていきたい。そして一番は、子どもの行動にある背景を認め、思いや気持ちに寄り添えることができる教員になりたいです。

大切なのは大人の子どもたちへの見方と関わり方

川崎市が着任時に求める教師像

- 1 子どもの話にきちんと耳を傾けることができる教師
- 2 子どもと一緒に考え行動することができる教師
- 3 子どもに適切なアドバイスを与えることができる教師
- 4 教材研究がきちんとできる教師

対面での開催ではなかったことは残念でしたが、かわさき教師塾で共に学び、採用試験を受ける仲間ができたことを嬉しく思います。

子どもたちの自己肯定感を育み、高められる教師が理想であり、4月から川崎市が求める教師像をめざしつつ自分の理想の教師へとなるように努めていきたい。

先生
ありがとう

川崎市の学校で皆さんが活躍している様子を耳にし、目にすることを楽しみにしています。



受講生の皆さんの「対面で…」との願いを叶えられず、最終の教師塾についてもオンライン形式となり、残念でなりません。1月22日の教師塾で欠のようなことがありました。講師の福岡指導主事が、ZOOM画面越しに小学校で働いていた頃の教え子だった受講生に声を掛けていたことです。顔と名前から気付いたそうです。受講生の皆さんは聞いていたかと思います。受講生の皆さんと、近い将来「未来の社会を支える人を育てる場」で働くチームの一員として、出会えることを心から楽しみにしています。半年間の受講、お疲れ様でした。